

官報

號外 昭和十六年一月二十九日

○第七十六回帝國議會衆議院議事速記録第六號

昭和十六年一月二十八日(火曜日)

午後一時十七分開議

議事日程 第五號

昭和十六年一月二十八日

午後一時開議

第一 昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルコトニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第二 留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三 田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第四 富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第五 昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第六 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第九 地方分與稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

○議長(小山松壽君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

(第一號) 昭和十五年度歲入歳出總豫算追加案

(特第一號) 昭和十五年度特別會計歳入歳出豫算追加案

關稅定率法中改正法律案

昭和十二年法律第五十七號改正法律案(鐵ノ輸入稅免除ニ關スル件)

(以上一月二十八日提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルコトニ關スル件)

(以上一月二十四日提出)

留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法律案

(以上一月二十五日提出)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)

朝鮮事業公債法中改正法律案

朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案

臺灣事業公債法中改正法律案

地方分與稅法中改正法律案

大正九年法律第五十六號中改正法律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)

關東局、臺灣總督府、樺太廳及南洋廳ノ各特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ關スル經費等ニ關スル法律案 (以上一月二十六日提出)

一去二十三日近衛內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

明治三十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

鐵道省需品局長 堀木 鎌三

第七十六回帝國議會鐵道省所管事務政府委員被仰付

一去二十三日常任委員理事補關選舉ノ結果左ノ如シ

豫算委員

理事 古田喜三太君(理事古屋慶隆君去二十三日理事辭任ニ付其ノ補關)

補關

一去二十三日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第一部選出豫算委員 青山 憲三君

第二部選出豫算委員 小野 謙一君

第六部選出豫算委員 箸本 太吉君

第七部選出豫算委員 深澤 吉平君

第八部選出豫算委員 宮崎 一君

一去二十三日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第五部選出

豫算委員 末松偕一郎君(手代木隆吉君補關)

一去二十三日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

外一件委員

松田 正一君 宇賀 四郎君

駒井 重次君 高島龜太郎君

樋口善右衛門君 岩瀬 亮君

小野 謙一君 大内竹之助君

大橋清太郎君 坂田 道男君

澤田 利吉君 世耕 弘一君
田村 秀吉君 津原 武君
塚本 重藏君 朴 春 琴君
星 一君 森 肇君
一去二十四日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

二 黒田 壽男君
四七 田川大吉郎君
四八 尾崎 行雄君
五〇 中崎 俊秀君
三二一 小泉又次郎君
三二二 島田 俊雄君
三三三 大口 喜六君
三三三 八木 逸郎君
三三四 新潟縣第一區選出議員

一去二十四日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
外一件委員
委員長 松田 正一君
理事

宇賀 四郎君 駒井 重次君
高島龜太郎君 樋口善右衛門君
一去二十四日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ
第一部選出
豫算委員 窪井 義道君(青山憲三君補關)
第二部選出

豫算委員 杉浦 武雄君(小野謙一君補關)

第六部選出
豫算委員 松村 光三君(箸本太吉君補關)

第七部選出
豫算委員 櫻井兵五郎君(深澤吉平君補關)

第八部選出
豫算委員 木暮武太夫君(宮崎一君補關)

一去二十五日近衛內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ
企畫院部長 竹内 徳治
第七十六回帝國議會政府委員被仰付
馬政局次長 樺淵 鎧一
第七十六回帝國議會農林省所管事務政府委員被仰付

鐵道省工作局長 徳永 晋作
鐵道省電氣局長 魚住 朝治
第七十六回帝國議會鐵道省所管事務政府委員被仰付

保險院總務局長 川村 秀文
保險院社會保險局長 木村 清司
保險院簡易保險局長 前田 穰
軍事保護院援護局長 曾我 梶松
軍事保護院業務局長 櫻井安右衛門
第七十六回帝國議會厚生省所管事務政府委員被仰付

一去二十五日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第四部選出豫算委員 多田 滿長君
一去二十六日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第四部選出
豫算委員 作田高太郎君(多田滿長君補關)

一昨二十七日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
外一件委員
辭任岩瀬 亮君 補關中野 寅吉君

○議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ致シマス、第八部選出請願委員小林絹治君、第八部選出請願委員小林房之助君、右常任委員辭任ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可スルニ決シマシタ、其ノ部ノ諸君ハ速カニ補關選舉ヲ行ヒ、御届アラシコトヲ望ミマス
陸軍大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス

東條陸軍大臣
〔國務大臣東條英機君登壇〕

○國務大臣(東條英機君) 先般本議場ニ於キマシテ、滿場一致ヲ以テ議決セラレマシタル戰時體制強化ニ關シマスル所ノ決議ハ、直チニ之ヲ前線將兵ニ傳達致シマシタ

所、在滿支各總司令官ヨリ次ノ如キ返電ニ接シマシタノデ、茲ニ其ノ全文ヲ御紹介申上ゲタイト存ジマス

支那派遣軍總司令官ヨリノ電報
戰時體制強化ニ關スル衆議院ノ決議敬承、戰時體制ノ徹底の強化ニ關シテハ之ヲ待望スルコト既ニ久シ今ヤ高ラカニ舉國一致ノ聲ヲ聞キ派遣軍ノ士氣益々奮フ國內愈々鞏固ニシテ軍益々精強ナリ以テ萬事決セザルナシ派遣軍ハ今次決議ノ眞劍且ツ迅速ナル具現ヲ期待シテ已マザルモノナリ

〔拍手起ル〕
支那派遣軍總司令官、關東軍司令官ヨリノ電報
新東亞ヲ建設スベキ未會有ノ重大時局ニ際會シ議會ハ民意ヲ代表シ戰時體制ノ強化ヲ決議シ、茲ニ朝野一體難局打開ノ態容漸ク鞏キヲ加ヘントス洵ニ慶祝ニ堪ヘズ翼クハ舉國一致速カニ時局ニ即スル經綸方圖ヲ具現シ以テ充實シタル國防國家體制ヲ確立センコトヲ軍ハ舉軍一體愈々士氣ノ振作昂揚ト戰力ノ鍊磨涵養トヲ圖リ以テ第一線國防ノ重責ヲ完ウシ以テ聖旨ニ副ヒ奉リ銃後ノ信倚ニ應ヘンコトヲ期シアリ

〔拍手起ル〕
關東軍司令官
尙ホ支那派遣軍ニ於キマシテハ、去ル二十四日左ノ如ク前線將兵ニ傳達致シマシタ、其ノ全文ヲ朗讀致シマス

關東軍司令官

二十二日戰時體制強化ニ關スル決議案ガ
衆議院ニ於テ満場一致可決セラレタコト
ハ派遣軍トシテ洵ニ心強ク感ズル、思フ

ニ派遣軍將兵ハ今日マデ御後威ノ下舉國
統後ノ熱烈ナル支援ニ依リ嚇々タル戰果
ヲ收メテ來タノデアルガ、國際情勢ノ緊
迫ノ折柄、更ニ翼賛議會再開ノ劈頭ニ當
リ衆力一致ニ依ル戰時體制ノ強化ニ關シ
確乎不動ノ決意ヲ表明セラレ、銃後鐵壁
ノ備ヘ茲ニ一段ノ躍進ヲ見ントシツツア
ル、正道ヲ踏ムモノガヨク久シキヲ得、

國內ノ結束一致鞏固ニシテ戰事ニ從フモ
ノ精強ナル時、ヨク戰勝ノ地位ニ立チ國
是ヲ貫徹シ得ルノデアル、今や國內ハ愈々
強固ニ又軍ハ益々精強デアル、即チ皇國ハ
前線銃後鐵石ノ團結ヲ以テ長期時艱突破
ニ對スル體制ヲ完備シツツアル

聖詔昭乎トシテ上ニアリ、第一線將兵ハ
均シク更ニ此ノ舉國一致ノ總意ヲ身ニ體
シ後顧ノ憂ナク一死殉國ノ信念ヲ強化
シ、其ノ使命ニ一意邁進セネバナラス
是ガ全文デアリマス(拍手)

○武知勇記君 議事進行ニ關スル動議ヲ提
出致シマス、即チ今期議會ニ於テハ本會議
中委員會ノ開會ハ院議ニ諮フコトナク、議
長ニ於テ許可シ得ルコトトセラレンコトヲ
望ミマス

○議長(小山松壽君) 武知君ノ動議ニ御異
議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ
提出致シマス、即チ臨時第一號、臨時軍事費豫
算追加案ヲ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求
メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異
議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——臨時第
一號、臨時軍事費豫算追加案ヲ議題ト致シ
マス、豫算委員長ノ報告ヲ求メマス——豫
算委員長増田義一君

(臨時第一號)臨時軍事費豫算追加案
報告書

一(臨時第一號)臨時軍事費豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十六年一月二十八日

豫算委員長 増田 義一

衆議院議長小山松壽殿

(増田義一君登壇)

○増田義一君 只今議題トナリマシタ臨時
軍事費豫算追加案、臨時第一號ニ付キマシテ
豫算委員會ニ於ケル審議ノ經過竝ニ結果ヲ
御報告致シマス

支那事變關係ノ軍事費ト致シマシテハ、
既ニ數回ニ互リ帝國議會ノ協賛ヲ經テ居ル

次第デゴザイマスガ、此ノ度更ニ追加トシ
テ計上致サレマシタ金額ハ、歳入歳出各、
十億圓トナツテ居ル次第デアリマス、併シ
ナガラ右ハ本議會ニ於テ協賛ヲ受クベキ臨
時軍事費ノ全貌ヲ示シテ居ルモノデアリ
マセヌ、其ノ歳出ハ概ネ昭和十五年度内ニ
於ケル作戰部隊、艦船等ノ維持費、其ノ他
ノ事變關係ノ諸經費ヲ追加計上致シテ居ル
ノデアリマス、支出ノ實蹟ニ徴シテ全額ノ
一括成立ヲ待ツノ違ナキニ付キ、差當リ本
年三月頃マデノ所要額ヲ計上シタトノコト
デアリマス、又歳出豫算ノ計上ノ付キマ
シテハ、從來ノ方法ト異ナツテ、陸軍臨時
軍事費ト海軍臨時軍事費トヲ併セテ臨時軍
事費ト致シテ居リマスガ、是ハ日清、日露
又ハ第一次歐洲戰爭ノ場合ニ於ケル臨時軍
事費ノ例ニ倣フモノデアリマス、今回ノ
臨時軍事費ノ財源モ、從來ト同様其ノ大部
分ヲ公債ニ仰イデ居ルノデアリマス、即チ
公債及ビ繰替借入金ハ九億九千七百餘萬圓
ヲ計上シ、公債金以外ノ輸入トシテハ二百
餘萬圓ヲ計上シテアルニ過ギマセヌ、以上ノ
金額ヲ既ニ成立致シテ居リマスル是マデノ
豫算額ニ加ヘマスレバ、臨時軍事費ノ總額
ハ、歳入ガ百七十四億九千九百餘萬圓、歳出
ガ百七十四億五千五百餘萬圓ト相成ル次第
デアリマス

本案ニ付キマシテハ更ニ豫算委員會ノ秘密
會ニ於キマシテ政府ノ補足的説明ガアリマ
シタ、而シテ豫算委員會ニ於キマシテハ、
本案ニ伴フ物資ハ昭和十五年度ノ物資動員
計畫ニ屬スルモノナリヤ、又ハ昭和十六年
度ノ物資動員計畫ニ屬スルモノナリヤトノ
質問ガアリマシタガ、之ニ對シ大藏大臣ヨ
リ昭和十五年度ノ物資動員計畫ニ屬スルモ
ノデアルト云フ答辯ガアツタノデアリマス、
質問ヲ終了シテ、本日午後討論ニ入りマシ
テ、宮澤胤勇君ヨリ賛成ノ意見ヲ述べラレ、
採決ノ結果全員一致ヲ以テ可決致シマシ
タ、此ノ段御報告致シマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 採決致シマス、本案
ノ委員長報告ハ可決デアリマス、本案ハ委
員長報告ノ通り決スルニ贊成ノ諸君ノ起立
ヲ求メマス

(議員起立)

○議長(小山松壽君) 起立議員、仍テ本案
ハ委員長報告ノ通り全員一致可決確定致シ
マシタ

(拍手起ル)

○議長(小山松壽君) 日程第一、昭和十三
年法律第二十三號中改正法律案ノ第一讀會
ヲ開キマス——河田大藏大臣

第一 昭和十三年法律第二十三號中改
正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣
總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケ
ル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等
ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコ
トニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

昭和十三年法律第二十三號中左ノ通改正

第一條中「砂糖消費稅、」ノ下ニ「煙草稅、」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣河田烈君登壇〕

○國務大臣(河田烈君) 只今議題トナリマシタ昭和十三年法律第二十三號中改正法律案ニ付キマシテ提出ノ理由ヲ説明致シマス

昭和十三年法律第二十三號第一條ノ規定

律中改正法律案ヲ茲ニ提出致シタ次第デア

ヘラレンコトヲ御願ヒ致シマス

○議長(小山松壽君) 本案ノ審査ヲ付託ス
ベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、昭和十六

行ニ關スル法律案件一件ノ委員ニ依セテ計

○詔長（八）村重永（朋音永）重訓ニ從皇

○義長(小山公尊君) 卽異義ナント忍々マ

二乃至第四八便宜上一括議題卜ナスニ御異

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

第二 留萌鑛道株式會社及新潟臨港開

行ニ關スル法律案(政府提出)

第三 田名部運輸軌道株式會社所屬軌

發行二部、八法律箋（正府抄出）

道未代會士所屬藏道買女二鬪不レ去

會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關

政府ハ左ノ鐵道買收ノ爲之ニ必要ナル

留萌鑛道株式會社所屬鑛道但シ

一 親臨港界務林工會前戶屢鑄道

附
則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ

スル法律案

附則

會社所屬鐵道買收ニ關スル法

延鑄道株式會社所屬鑄造及

第二條 前條之金銀貨、貨物、其

簞以糞以內二於之月臨

算出シタル金額ニ依ル

交付ス此ノ場合ニ於テ二十五

十五圓トス

格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之

八買收

公債ヲ發行スルコトヲ得

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣河田烈君登壇〕

即チ先ヅ留萌鐵道株式會社及新潟臨港開
發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關
スル件ニ付キマシテ御説明致シマス、

留萌鐵道株式會社ノ經營ニ屬シマスル留
萌港ノ臨港鐵道、及ビ新潟臨港開發株式會
社ノ經營ニ屬シマスル新潟港ノ臨港鐵道ニ
付キマシテハ、留萌港又ハ新潟港ニ於ケル
海陸連絡施設ヲ整備統制シ、以テ重要物資
輸送ノ圓滑ヲ圖ルノ必要上ヨリ致シマシテ、
昭和十六年度ニ於テ之ヲ買收スルノ適當
ト認メマシタ所、是ガ爲ニハ買收代價ト致
シマシテ交付スベキ公債ヲ發行シ得ルコト
トスルノ必要ガゴザイマス、仍テ本案ヲ提
出致シタ次第ゴザイマス

次ニ日程第三ノ田名部運輸軌道株式會社
所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債
發行ニ關スル法律案ニ付キマシテ説明致シ
マス、田名部運輸軌道株式會社ノ經營ニ屬
シマス軌道ハ、國鐵大畑線ガ之ニ接近並行
シテ敷設セラレマシタル關係上多大ノ影響
ヲ受ケマシテ、其ノ營業繼續ガ不能ニ陥リ
マシタル爲メ、本軌道ノ經營廢止ニ因ツテ
生ズル損失ヲ補償スルノ適當ト認メマ
ス、然ルニ是ガ爲ニハ右補償トシテ交付ス
ベキ公債ヲ發行シ得ルコトトスルノ必要ガ
ゴザイマスルノデ、本法律案ヲ提出致シタ
次第ゴザイマス

以上二案何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與
ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 小川鐵道大臣

(國務大臣小川郷太郎君登壇)

○國務大臣(小川郷太郎君) 只今上程セラ
レマシタ日程第四ノ法律案ノ提案ノ理由ヲ
簡單ニ申上ゲマス、此ノ法律案ハ富士見延
鐵道及ビ白棚鐵道ノ買收ニ關スルモノデア
リマス、是等ハ目下政府ニ於テ借入經營中ノ
モノデアリマスガ、何レモ其ノ鐵道ノ使命
ト現狀トニ鑑ミ、今回之ヲ買收致シマシテ
輸送力ノ強化ヲ圖リ、時局下ノ要請タル生産
力擴充等ニ資セントスルモノデアリマス、
何卒御審議ノ上御協賛アラント希望致
シマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 各案ノ審査ヲ付託ス
ベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 日程第二乃至第四ノ三案ヲ
一括シテ、議長指名十八名ノ委員ニ付託セ
ラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第五
乃至第八ハ便宜上一括議題トナスニ御異議
アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程第五、昭和十二年法律第八十
四號中改正法律案、日程第六、朝鮮事業公
債法中改正法律案、日程第七、朝鮮鐵道用

品資金會計法中改正法律案、日程第八、臺
灣事業公債法中改正法律案、右四案ヲ一括
シテ第一讀會ヲ開キマス——河田大藏大臣

第五 昭和十二年法律第八十四號中改

正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍
事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)

(政府提出) 第一讀會

第六 朝鮮事業公債法中改正法律案

(政府提出) 第一讀會

第七 朝鮮鐵道用品資金會計法中改正

法律案(政府提出) 第一讀會

第八 臺灣事業公債法中改正法律案

(政府提出) 第一讀會

昭和十二年法律第八十四號中改正法律
案

昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正
ス

「百四十億七千四百二十萬圓」ヲ「百五十
億七千八百八十萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮事業公債法中改正法律案

朝鮮事業公債法中左ノ通改正ス
第一條中「十三億三千六百萬圓」ヲ「十六
億八百二十萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案
朝鮮鐵道用品資金會計法中左ノ通改正ス
第二條 朝鮮鐵道用品資金ハ千萬圓トシ
漸次朝鮮總督府特別會計ヨリ繰入ス

附則

本法ハ昭和十六年度ヨリ之ヲ施行ス

臺灣事業公債法中改正法律案

臺灣事業公債法中左ノ通改正ス
第一條中「一億八千八百九十萬圓」ヲ「一
億九千二百八十萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣河田烈君登壇)

○國務大臣(河田烈君) 只今議題ト相成リ
マシタ日程第五乃至第八ノ四案ニ付キマシ
テ説明致シマス

先ヅ昭和十二年法律第八十四號中改正法
律案ニ付テ申上ゲマス、支那事變ニ關スル
經費ニ付キマシテハ、第七十一回帝國議會
乃至第七十五回ノ各帝國議會ノ協賛ヲ經マ
シテ、其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行ヲナ
シ得ル權能ヲ得テ居ルノデゴザイマスガ、
事態ノ推移ニ伴ヒマシテ、更ニ臨時軍事實
費十億圓ノ追加計上ヲ必要ト致シマスル所、
其ノ所要財源中二百三十餘萬圓ニ付キマシ
テハ、北支事件特別稅收入等ヲ以テ充當致
シマシタ、差引九億九千七百六十餘萬圓ニ
付キマシテハ、今日ノ場合之ヲ公債財源ニ
依ルコトト致シマスル爲メ、昭和十二年法

律第八十四號中公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シタ次第ゴザイマス、只今議決ニ相成リマシタル所ノ臨時軍事費特別會計追加ニ相伴フモノデゴザイマス

次ニ朝鮮事業公債法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費、鐵道建設及ビ改良費、道路修築改良費及ビ港灣修築改良費ノ追加額ハ、三億二千六十餘萬圓ノ中三億三百四十餘萬圓、竝ニ港灣修築改良費ノ既定額中普通財源ニ依ル豫定デゴザイマシタモノノ中千四百六十餘萬圓、合ハセマシテ三億千七百六十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計ノ歲計ノ現狀竝ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、是ガ財源ノ公債ニ仰グコトト致シマシタルニ依リマシテ、現行朝鮮事業公債法ノ公債發行限度ヲ増加スルノ必要ガアルノデゴザイマス、是ガ爲メニ本法律案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス

其ノ次ニ朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、朝鮮ニ於ケル鐵道事業ノ増大ニ伴ヒマシテ、朝鮮鐵道用品資金特別會計ニ於ケル歲入歲出モ亦著シク増加致シマシタル爲メ、從來ノ資金額ヲ以テ致シマシテハ、本會計本來ノ機能ヲ發揮スルコトガ著シク困難ナルノ狀況デゴザイマス、之ニ顧ミマシテ本資金ノ法定額ヲ千萬圓ニ増加シマシテ、漸次朝鮮總督府特別會計ヨリ繰入ルルコトト致スノヲ適當

ト認メマシタ、是ガ爲メ昭和十六年度ノ豫算ニ於キマシテハ、之ニ要スル經費二百萬圓ヲ計上致シテ居ル次第デゴザイマス、以上ノ理由ヲ以テマシテ本法律案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス

最後ニ臺灣事業公債法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、臺灣總督府特別會計ニ於ケル昭和十六年度豫算ニ新規ニ計上致シマシタル鐵道改良費竝ニ既定繼續費、鐵道建設費、停車場改良費及ビ港灣費ノ追加額總計千六百八十餘萬圓ノ中、四百四十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計ノ歲計ノ現狀竝ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、是ガ財源ノ公債ニ依ルコトト致シマシタルニ依リマシテ、現行臺灣事業公債法ノ公債發行限度ヲ増加スルノ必要ガアルノデゴザイマス、仍テ本法律案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス

以上説明致シマシタル各法律案ニ付キマシテ、何卒御審議ノ上速カニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)
○議長(小山松壽君) 各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス
○服部崎市君 日程第五乃至第八ノ四案ヲ一括シテ、政府提出、昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員ニ併セ付託サレンコトヲ望ミマス
○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第九、地方分與稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——平沼內務大臣

第九 地方分與稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

地方分與稅法中改正法律案
地方分與稅法中左ノ通改正ス
第四十九條第一項中「昭和十六年度分ニ付テハ百分ノ六十五」及同條第二項中「昭和十六年度分ニ付テハ百分ノ三十五」ヲ削ル

附則

本法ハ昭和十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
(國務大臣男爵平沼騏一郎君登壇)

○國務大臣(男爵平沼騏一郎君) 只今議題トナリマシタ地方分與稅法中改正法律案ニ付キマシテ、提出ノ理由ヲ説明致シマス
改正致シマスル事項ハ、昭和十六年度ニ於テ分與致シマスル道府縣配付稅及ビ市町村配付稅ノ配付稅總額ニ對スル割合デアリマス、地方分與稅法第十條ノ規定ニ依リマスレバ、配付稅ハ其ノ總額ノ百分ノ六十二ヲ道府縣配付稅ト致シ、其ノ總額ノ百分ノ三十八ヲ市町村配付稅トスルコトニ相成ツテ居リマス、是ガ所謂平年度ニ於ケル配付稅分與ノ割合デゴザイマスルガ、昭和十六年

度分ノ配付稅ニ付キマシテハ法第四十九條ノ規定ニ依リマシテ、特ニ其ノ總額ノ百分ノ六十五ヲ道府縣配付稅ト致シ、其ノ總額ノ百分ノ三十五ヲ市町村配付稅トシテ分與スルコトニ相成ツテ居ルデアリマス、是ハ昭和十六年度ニ於キマシテハ、尙ホ舊法ニ依ル所得稅附加稅、營業收益稅附加稅等ノ收入ガアリマシテ、其ノ收入額ノ割合ガ道府縣ト市町村トニ差ガアリマスル爲メ、斯様ナコトニ相成ツテ居ルデアリマス、ソレデアリマスルガ、昭和十六年度ニ於ケル地方稅收入ノ見透シ、竝ニ昭和十五年度ニ於ケル配付稅分與ノ實績等カラ考ヘマスルトキハ、配付稅ノ總額ヲ前ニ申述ベマシタ如キ割合ニ依リ分與スルコトト致シマスルト、市町村分

ニ於テ其ノ財源ガ多少窮屈ニナツテ來ルヤウニ感ゼラレルデアリマス、ソレデ是等ノ事情ヲ達觀シマシテ、道府縣分ヨリ約一千万圓程度ヲ市町村分ニ移讓スルコトヲ適當ト認ムルデアリマス、サウ致シマスルト、配付稅總額ニ對スル割合ヲ、道府縣分ニアリマシテハ百分ノ六十二、市町村分ニアリマシテハ百分ノ三十八ニ改メマスルコトガ必要ナノデアリマス、即チ是ハ結局先ニ申述ベマシタ所謂平年度ニ於ケル割合ニ依レバ宜シイコトニ相成ルデアリマス、昭和十六年度分ニ付テ規定致シテ居リマスル分與ノ割合ニ關スル特例ハ、其ノ必要ガナイコトト相成ルデアリマス、仍テ右特例ニ關スル規定ヲ削除スルト云フノガ本案ノ趣意デアリマス

今回法律案ヲ提出致シマシタ理由ハ、右
申述ベル通りデゴザリマス、何卒御審議ノ
上、速カニ御協賛アランコトヲ希望致シマ
ス(拍手)

○議長(小山松壽君) 本案ノ審査ヲ付託ス
ベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ議長指名二十七名ノ
委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ニテ議
事日程ハ議了致シマシタ、次會ノ議事日程
ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ
散會致シマス

午後一時四十九分散會

